

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

トップ自らが動く 鈴木 修 (スズキ会長)

1. インドで最も成功した企業と言えばスズキだ。急拡大するインド乗用車市場でシェア 5 割強を握り、ついでに名は「インドのトヨタ」。子会社のマルチ・スズキは今やインドの超有名企業だ。進出は 1982 年。国民車構想を持つ国営企業マルチ・ウドヨグの調査団が合弁先探しで来日したのがきっかけだ。他の日本車メーカーは中堅クラスが対応したのに対し、スズキは当時社長就任 5 年目だった鈴木修会長自身が腕まくりをして登場。あるべき工場のレイアウトなどを熱心に説明し、調査団の心を射止めた。
2. 以後、「スズキでインドへの渡航回数が多いのは鈴木会長」というほど会長自らが陣頭指揮を執り、マルチの脱国営企業の改革を実行する体制を確立した。経営陣も従業員と同じ食堂で食事をするなどオープンな企業文化を創造し、カースト制度や社会主義の色が残るインド経済にあって、マルチは「目指すべき企業像」と称揚される。
3. 鈴木修会長は「当時、日本のメーカーは先進国へ進出したけど、スズキはアジアの発展途上国の皆様方と車作りをやらないと行くところがない。背水の陣だった。」「僕は日本人で日本の経営しかやることがないから、欧米式やインド式の経営をやれといわれてもできない。それでよろしいですか、と申し上げた。調査団長は、ミスタースズキがやってくれるなら、われわれは車作りは知らないからあなたに全部まかせると言われた。だから、カースト制度とか風俗、習慣、言語、文化、全部違うけど、それらを超えて、もう人間対人間、そういう気持ちがあった」等々と語る。
(参考:「週刊東洋経済」2007 年 10 月 20 日号)

経営者のための理念・哲学

「三しない」の実践

松原泰道 (臨済宗龍源寺前住職)

1. 私は「三しない」ということを実践しています。「三しない」というのは、無理をしない、無精をしない、無駄をしないというものです。無理をしないというのは、道理に外れたことをしないということです。年を取ると我を張るようになる。周囲も年寄りの言うことだと思って遠慮する。するといい気になって、道理に外れたことをする。それを戒めます。これはやはり坊さんだった父の言葉ですが、「俺は先に死ぬに決まっているけど、親が亡くなり、先生も亡くなり、先輩も亡くなると、自分で自分に厳しくしなかつたら墮落するぞ」とよく言われました。
2. それから無精をしない。私もヘルパーさんに手伝ってもらっていますが、「過保護はやめてください」と言って、自分でできることはできるだけ自分でするようにしています。最後に無駄をしない。一枚のティッシュペーパーでも大切に使い、とにかく無駄をしないように心がけています。
(参考:「文藝春秋」:2008 年 1 月号)

海外事情

経済特区へ外資流入 (インド)

1. インドでは、11 億人を超える人口の中から、3 億人の富裕層やニューリッチ層が台頭している。彼らは都市部で新築マンションを購入するようになっており、それに伴って、家具や自動車、家電製品などの消費が盛り上がっている。携帯電話の市場も急速なスピードで拡大している。
2. 規制緩和を追い風として、外国企業の進出も加速し、インド経済を押し上げている。最近では、かつての中国と同様、経済特区の構想が進められ、ムンバイやニューデリーといった大都市部に大規模な特区の造成が相次いでいる。経済特区開設の効果により、今後 3 年間で外国からの投資が 1 兆ルピー (約 3 兆円) 増加するとにらんでいる。また、新規に 200 万人の雇用が創造できるとも見積もっている。
(参考:「週刊東洋経済」2007 年 10 月 27 日号)

古典に学ぶ

艱難を経た者

「艱難は能く人の心を堅うす。故に共に艱難を経し者は、交を結ぶも亦密にして、ついに相忘るる能わず」
(訳) 艱難は人の心を堅固にする。故に艱難をしてきた者は交わりを結ぶにも緊密で互いに忘れることはない。

(参考:佐藤一斎「言志四録」:PHP文庫)